

- 1、大阪市域における日本版ライドシェア実施に関する国土交通省からの通知に対する問題点
- 2、上記1の解決策
- 3、ライドシェア新法の必要性
- 4、成功するライドシェアアプリモデル

## 営業可能な曜日、時間帯、台数に規制がある

### 1、日本版ライドシェアの定義

タクシー会社のみが運転者を**雇用** **＝** 責任が発生

最低賃金 車両諸経費 自動車任意保険費  
有給手当 アプリ手数料 トラブル解決費

### 2、日本版ライドシェアとタクシーの営業比較

営業方法が少ない



タクシーと比べ**生産性が低い**

タクシー

- ・ 駅での客待ち営業
- ・ 路上での流し営業
- ・ 配車アプリや無線による営業

ライドシェア

配車アプリでの営業

**1種類のみ!**

### 3、日本版ライドシェアの実績予想（大阪）

(仮想の営業) 16時～19時台の営業で労働時間は最大4時間とする。  
2200円の配車依頼を1時間に1回受けることが出来たとして4時間営業する。

売上：2,200円×4回＝8,800円

経費：運転者への賃金を時間当たり1,400円とすると4時間で5,600円

経費：車両経費を時間当たり500円とすると4時間で2,000円

経費：自動車任意保険料を1日稼働当たり700円とする

経費：タブレットやスマホなど端末使用料を1日当たり200円とする

経費：その他アプリ使用費用、有給手当、管理費、日数に応じては社会保険料費

黒字化するには高いハードルを  
越えなければならない!

営業可能な曜日、時間帯、台数を**会社が決定できるなら、、、**



**無駄な営業を辞め、生産性が向上する様に工夫できる**

雇用 = 責任の発生（最低賃金や必要経費などの支払い義務）

（ 需要に対して**過剰な数の雇い入れは赤字運営**に繋がるため、  
営業可能な日時や台数などの**規制が無くとも**、ライドシェア  
の**過剰車両を営業させることはありません。** ）

黒字運営を行うためには、日々の**売上に応じて**会社毎に**営業の工夫が重要**

車両数

稼働日

稼働時間帯

会社毎の経営判断で  
必要な時は増やし、  
不要なところは絞る



自然と適正化する

**この様な運営が実施されなければ、2025年の大阪・関西万博  
開催時の来阪者から、満足して頂ける輸送は厳しい**

現状のタクシーの問題点

**運転者の高齢化**

高齢化による運転者数の減少

輸送力の低下

少 若者が運転職になる < 多 高齢で退職する

**デジタル化の遅れ**

配車アプリを使用する運転者の数が少ない

タクシーメーターでは、  
一定の規則による料金加算のみ

タクシー事業者としては、、、

今後も、生産性を高め、利益の向上を目指さなければならない。

その手段として、ライドシェア事業に新規で取り組むべきである。

- A、タクシー事業だけで勝ち続ける会社
- B、タクシー事業とライドシェア事業の両事業で勝っていく会社
- C、ライドシェア事業だけで勝っていく会社

それぞれのタクシー会社が得意とする方法で運用を行い、事業拡大に繋げる

路面輸送の経験値を有する**タクシー事業者こそが、**  
**ライドシェアに取り組むべき！！**

特に、**2025年**には、**大阪・関西万博が開催**される！！

新事業である**ライドシェア事業**を軌道に乗せるための  
**絶好のチャンス**が到来する！！

## プラットフォームにタクシー会社が加盟してライドシェアを行う場合

ライドシェア実施に当たり、最も重要な点：プラットフォームの決定だけが反映されるアプリではなく、各地域のタクシー会社の経営判断が反映されるアプリが望ましい。

プラットフォーム： アプリ作成・改良、**広告活動**、セキュリティ機能の導入、  
運転者を指導するための情報提供（様々な営業データ）  
AIを活用した、基本的な料金帯の提示システム（ダイナミックプライシング）

タクシー会社：各地域で独自の運営戦略を行う

閑散期、ライブなどのイベントや、電車が不通になった際の対応として

- ・リアルタイムに料金を変更出来る
- ・リアルタイムに運転者に指示を出せる

アプリ利用者：車両を手配する前に、車両の情報、お迎えまでの時間、料金などを確認出来る  
情報の一覧の中から自身の都合にあったものを選択できる

地域ごとに、タクシー会社ごとの運用を可能にし、

プラットフォームとタクシー会社の役割分担が整った運営を行うべきである。

会社の判断で料金を変更可能にする

閑散時間帯は安く

A社：1 kmで350円

B社：1 kmで500円

C社：1 kmで500円

イベント開催や電車不通時は高く

A社：1 kmで500円

B社：1 kmで900円

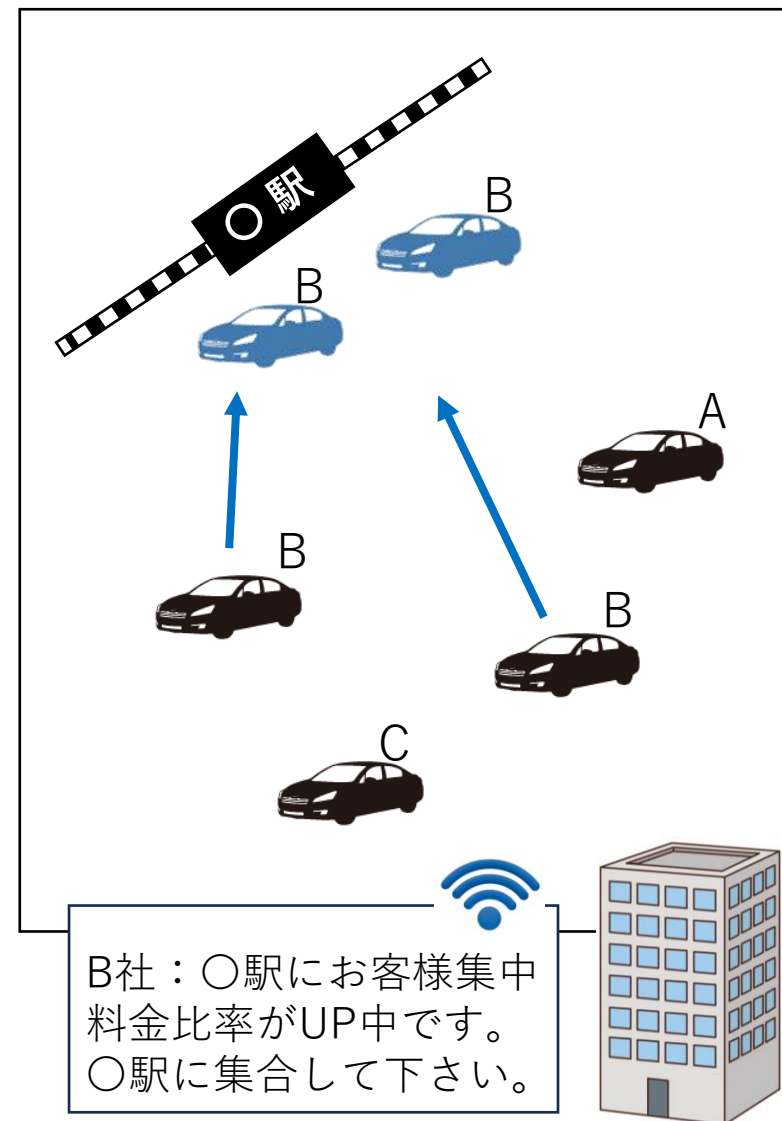
C社：1 kmで500円



B社	お客様まで5分	目的地まで ¥5000円
C社	お客様まで7分	目的地まで ¥5000円
A社	お客様まで15分	目的地まで ¥3500円
B社	お客様まで20分	目的地まで ¥5000円

B社	お客様まで1分	目的地まで ¥9000円
B社	お客様まで2分	目的地まで ¥9000円
B社	お客様まで8分	目的地まで ¥9000円
A社	お客様まで20分	目的地まで ¥5000円

リアルタイムに指示を出す



依頼の中から自身が希望する料金や車両を選ぶことが出来る